



給食だより

9月号



2022年の十五夜は、9月11日です。

もともと十五夜（お月見）は、平安時代に中国から日本に伝わりました。秋は収穫時期でもあり、たくさんおいしい食べ物が食べられることへの感謝の気持ちと、これからもおいしい食べ物が食べられますようにと願いを込めて、お供えするお月見が日本に十五夜として伝えられました。

十五夜の日、何をする？



1、すすきを飾る

月の神様をお招きするため、稲穂の代わりに形の似ているすすきをお供えされるようになりました。また、切り口の鋭いすすきは、魔除けの効果もあるとされ、庭や水田・軒先に吊るす風習もあるそうです。

2、月見団子を食べる

月見団子は諸説ありますが、中国のお菓子である月餅を真似して作られたそうで、丸い形が満月を連想し、月に収穫の感謝を表していると言われています。

3、農作物のお供えをする

その時期に収穫した里芋やさつまいも、栗など旬の野菜や果物をお供えする「収穫を祝う」行事でもあります。



十五夜のお団子は、
3歳児（うさぎ組）が作ってくれます。